



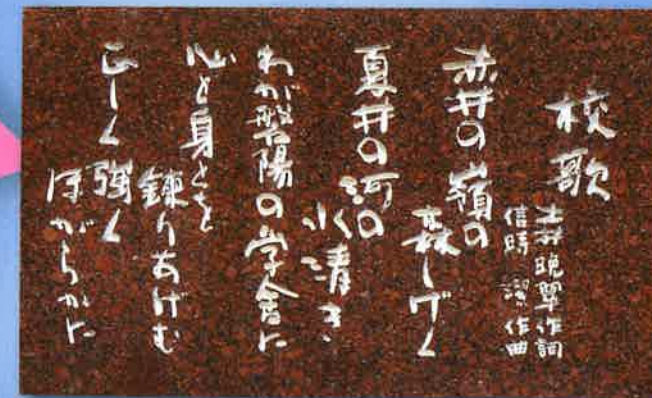
Dreams Come True

夢を実現させよう。新たな歴史と伝統をみんなで創ろう。

福島県立磐城桜が丘高等学校

2021年
学校案内

本校教育による達成目標 社会におけるリーダーの育成



I 進路希望を実現する

- 指導法の工夫・改善による授業の充実
- 組織力と情報力の活用
- 自学自習の定着
- 入学試験、選考試験に勝ち抜く力の養成

II 在り方・生き方を学ぶ

- 社会生活者としての資質の向上
- 安全・健康教育の充実
- 生徒会活動・部活動の充実と帰属意識の高揚
- 将来的視野の拡張と自己表現力の向上

III 地域とつながる

- 地域とつながる学校づくり
- 開かれた学校づくりの推進
- 安全・安心な学校づくり
- 美化活動の充実
- 各種の大会やコンクールへの積極的な参加

校訓
調和 勤労 気節

思いやりの心をもって力をあわせ、〔調和〕

自己および公共のために、心と身とを労することを厭わず、〔勤労〕

困難にくじけぬ強い意志と体力を養い、自ら掲げる理想と信念を守り、〔気節〕

生涯学び続ける情熱を培う。

校長メッセージ

「伝統の自覚と責任」

今年度は本校創立 116 周年目となります。

生徒が伝統校の意義を自覚し、ここで学ぶ誇りと責任をもって、一人ひとりが自分の目標を実現していけるよう指導します。

また、地域の方々や同窓生・保護者の皆様と連携し、地域の期待と信頼に応え、地域や福島県、そして、日本の社会を支えるリーダーとなる生徒を育てます。

- 授業を主体として、高校生活での活動の全てを自己形成のための学びとして積極的に受け入れ、進路希望の実現に真摯に取り組む生徒。
- 自他の異なりを正しく理解でき、互いの共通の思いを探り、その思いを育み帰属意識を高め、豊かな感性としなやかで強い心を持つ生徒。

Message

校長 佐竹 正徳



I 進路希望を実現する

- きめ細かい進路指導に努めます。
- 将来の進路を考え、体験型学習を実施します。
- 総合的な探求の時間を活用して総合型選抜・学校推薦型選抜に対応します。
- 学習会・平常課外・土曜課外・長期休業中の課外・早朝課外などで実力養成に努めます。

カリキュラム表（令和2年度入学生）

第一学年	共通	(現代文・古典) 国語総合	現代社会	数学Ⅰ	数学Ⅱ	数学A	物理基礎	生物基礎	体育	保健	音楽Ⅰ	美術Ⅰ	英語Ⅰ コミュニケーション ショー	英語表現Ⅰ	家庭基礎	総合学習	LHR	
				英語表現Ⅰ	総合学習	LHR												
第二学年	文類型	現代文B	古典B	世界史A	日本史A	地理A	数学Ⅱ		化学基礎	体育	保健	音楽Ⅱ	美術Ⅱ	英語Ⅱ コミュニケーション ショー	英語表現Ⅱ	社会と情報	総合学習	LHR
	理類型	現代文B	古典B	世界史A	日本史A	地理A	数学Ⅱ	数学Ⅲ 数学ⅢⅠ	化学基礎	化学	物理	生物	体育	保健	英語Ⅱ コミュニケーション ショー	英語表現Ⅱ	社会と情報	総合学習
第三学年	文Ⅰ型	現代文B	古典B	国語表現	世界史B	日本史B	地理B	世界史研究 日本史研究	体育	音楽素描	アートデザイン	英語Ⅲ ショー	コミュニケーション ショー	英語表現Ⅱ	実践英語Ⅰ	実践英語Ⅱ	総合学習	LHR
		英語表現Ⅱ	実践英語Ⅰ		実践英語Ⅱ	総合学習	LHR											
	文Ⅱ型	現代文B	古典B	世界史B	日本史B	地理B	政治経済 倫理	数学Ⅰ 数学Ⅱ 数学ⅢⅠ	数学Ⅱ 数学ⅢⅡ	化学	理科 生物	体育	英語Ⅲ ショー	コミュニケーション ショー	英語表現Ⅱ	総合学習	LHR	
	理類型	現代文B	古典B	世界史B	日本史B	地理B	政治経済／倫理	数学Ⅰ 数学Ⅱ 数学ⅢⅠ	数学Ⅱ 数学ⅢⅡ	化学	物理	生物	英語Ⅲ ショー	コミュニケーション ショー	英語表現Ⅱ	総合学習	LHR	

カリキュラムの詳細 ※()内は単位数を表しています。

- 1年次：数学Ⅱを先取りして実施します。
- 2年次：文類型・理類型のいずれかを選択します
文類型：世界史A、日本史A・地理Aの選択(6)、芸術(2)
理類型：数学ⅢⅠ・数学ⅢⅡの選択(1)、化学、物理・生物の選択(2)
- 3年次：文類型は文Ⅰ型と文Ⅱ型の選択、理類型は継続となります。
文Ⅰ型：国語表現(3)、世界史・日本史・地理研究の選択(2)、音楽史・素描・フードデザインの選択(4)、実践英語Ⅰ・Ⅱ(4)
文Ⅱ型：政治経済・倫理の選択(2)、理科実習・生物の選択(4)
理類型：数学ⅠⅡ・Ⅲの選択(7)、化学、物理・生物の選択(4)

日課表（令和2年度）※水曜日は6校時

(朝自習)	(8:05~8:20)
S-H-R	8:20~ 8:25
1校時	8:30~ 9:20
2校時	9:30~10:20
3校時	10:30~11:20
4校時	11:30~12:20
昼休み	12:20~13:05
清掃	13:05~13:20
5校時	13:20~14:10
6校時	14:20~15:10
7校時	15:20~16:10
S-H-R	16:10~16:15

学習風景～「主体的・対話的で深い学び」の実現～



ICTの活用授業



グループワーク



学習室 各大学の過去問題集(赤本)があり、それを利用して学習ができます。



個別指導

総合的な学習(探求)の時間『市政への提言』(2年次)



(作成スライドより)

総合的な学習(探求)の時間を活用し、ものの見方や考え方を深めさせ、課題解決能力や表現力を高めます。

山中亜花梨(3年)

現代の社会は、様々な情報に溢れていますので、学習をすすめていくうちに、知識は確実に増えていきました。それとともに、自分の伝えたいこと、課題の本質などを見失いがちになり、それを見極めることの難しさを実感しました。これらの活動をおとして、情報の取捨選択を自ら意識的に考えるようになり、他者へ正しく伝えるプレゼンテーション能力を養うことができました。

進路手帳の活用

～生徒一人一人が主体的・
計画的に学習できるように～



教員からのメッセージ

喜多見晃子先生 (社会科)

高校生は勉強、部活、趣味等
やることがいっぱい! 高校3年間
という限られた時間をいかに使うか
がとても大切です。その時間の管理
を手帳を使って行いましょう。そして
時間だけでなく、自己管理能力も身に
つけて進路実現をしましょう。

大学合格状況

卒業生進路先実数の推移 (5年間)

	令和元年度 卒業生 273 人		平成 30 年度 卒業生 268 人		平成 29 年度 卒業生 277 人		平成 28 年度 卒業生 320 人		平成 27 年度 卒業生 314 人	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
国公立大学	46	16.8	37	13.8	46	16.6	43	13.4	50	15.9
私立大学	171	62.6	156	58.2	168	60.6	199	62.2	198	63.1
文部科学省所管外大学校	0	0.0	1	0.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
短期大学	7	2.6	17	6.3	10	3.6	11	3.4	16	5.1
大学・短大進学小計	224	82.1	211	78.7	224	80.9	253	79.1	264	84.1
看護学校	16	5.9	12	4.5	4	1.4	11	3.4	13	4.1
* 専修・各種学校等 (看護学校を除く)	9	3.3	10	3.7	15	5.4	14	4.4	14	4.5
公務員	3	1.1	2	0.7	2	0.7	4	1.3	2	0.6
就職	1	0.4	0	0.0	0	0.0	2	0.6	3	1.0
その他 (訓練校・留学等)	1	0.4	2	0.7	5	1.8	1	0.3	0	0.0
小計	30	11.0	26	9.7	26	9.4	32	10.0	32	10.2
次年度進学予定	19	7.1	31	11.6	27	9.7	35	10.9	18	5.7
合計	273		268		277		320		314	
進路決定率	93.0		88.4		90.3		89.1		94.3	

夢ナビ (1年次)



新しい大学入試に関する情報を収集し、
多様な入試方式に対応します

筑波大学訪問 (2年次)



主な進路先

国公立大学

北海道教育大学・東北大学・宮城教育大学・山形大学・福島大学・新潟大学・茨城大学・秋田大学・
筑波大学・埼玉大学・宇都宮大学・東京外国語大学・東京学芸大学・東京都立大学・岩手県立大学・
宮城大学・福島県立医大・会津大学・高崎経済大学・群馬県立女子大学・横浜市立大学・都留文科
大学・千葉県立保健医療大学・新潟県立大学など

私立大学

早稲田大学・慶應大学・明治大学・青山学院大学・立教大学・法政大学・日本大学・東京農業大学・
文教大学・学習院大学・東北学院大学・津田塾大学・東京女子大学・日本女子大学・立命館大学・
独協大学・神田外語大学・國學院大学・駒澤大学・専修大学・北里大学など

1日総合大学 (1年次)



在校生からのメッセージ

小野 愛実 (2年 女子サッカー部)

一日総合大学では、
大学の雰囲気を感じ
ることができました。90分
と長い講義でしたが、
自分で選んだ講義だっ
たので、興味深く、時間
が早く感じました。また、
入試制度についても多く
の情報を得ることができ、
良い体験ができました。



卒業生の声 (合格体験記より一部抜粋)

大嶋 楓希 (水泳部)

東京学芸大学 中等教育教員養成課程 数学専攻

勉強に必要なものは日々の積み重ねだと思います。授業は真剣に
受けるのももちろん、その日のうちに復習をするのが大事です。部活
などで疲れて勉強が出来ないという人もいますが、教科書
を読み返したり、寝る前にその日の授業内容を頭の中で反芻したり
するだけでも変わってくると思います。

結局、やるべきことは決まっています。如何にそれらから逃げずに
実践できるかなのです。もし、逃げずに勝ち取った合格ならば、受験
だけでなく今後の人生においても価値のある合格になると思います。
皆さんが希望する進路を実現できることを願っています。

進路指導主事からのメッセージ

猪 茂男 先生 (数学科)

正門を入ると左手に
『Dreams Come True』と
書かれた看板が見えます。
君たちの進路希望を実現
するために、進路ではいろ
いろな行事を予定しています。
新型コロナ禍のなかでも夢
に向かって前向きに取り組
めるのが桜が丘生です。



Ⅱ 在り方・生き方を学ぶ

令和元年度の主な活動成績



放送局



テニス部



合唱部

放送局	第66回NHK全国高校放送コンテスト	アナウンス部門 出場 ラジオドキュメント部門 入選(全国5位相当) 創作テレビドラマ部門 テレビドキュメント部門 制作奨励賞(全国6位相当)
	第24回東北高等学校放送コンテスト	アナウンス部門 朗読部門 テレビキャンペーン部門 出場
陸上競技部	秩父宮賜杯 第72回全国高等学校陸上競技対校選手権大会 第74回国民体育大会	女子400mH 走幅跳 出場 女子400mH 第8位入賞 女子走幅跳 第6位 男子100m 200m 準決勝進出 女子4×100mリレー 4×400mリレー 準決勝進出 女子三段跳 7種競技 出場
	第74回東北高等学校陸上競技大会	男子シングルス 出場 U16男子シングルス 女子ダブルス ベスト8 U18女子シングルス ベスト16
テニス部	MUFGジュニアテニス選手権大会2019 第41回東北ジュニアテニス選手権大会	文芸部誌部門 奨励賞 短歌部門 出品
文芸部	第34回全国高等学校文芸コンクール	男子個人 出場
剣道部	全国総合体育大会剣道大会 第50回東北高等学校女子剣道選手権大会	女子個人 出場 女子800m自由形 第5位 男子100m背泳ぎ 第10位
水泳部	第74回東北高等学校水泳競技大会	男子100m 200m 平泳ぎ 100m自由形 平泳ぎ 4×100mメドレーリレー 4×100mフリーリレー 出場 女子400m自由形 100m 200mバタフライ 4×200mフリーリレー 出場
合唱部	第71回全日本合唱コンクール東北支部大会	大学ユースの部 銀賞



陸上部



剣道部

磐城桜が丘の部活動

文化部

文芸・科学・写真・食物・合唱・演劇・美術工芸・書道・茶道華道・吹奏楽・琴曲・チャリティー・ダンス

運動部

バスケットボール・バレーボール・ソフトテニス・卓球・陸上競技・ソフトボール・バドミントン・水泳・弓道・テニス・剣道・野球・サッカー

局・同好会等

新聞・購買・放送・ダンス・家庭クラブ



在校生からのメッセージ1 (吹奏楽部)

桜が丘吹奏楽部は、人を感動させる音楽をつくることを目標に活動しています。人数が多いので、音楽を創り上げるのは大変ですが、仲間と切磋琢磨することで、友情や団結が生まれると思います。また、聞いてくださった方々から拍手やお褒めの言葉を頂いたときはとても嬉しいです。ともにステージで演奏できる仲間を心よりお待ちしています。



在校生からのメッセージ2 (男子バスケットボール部)

僕たち男子バスケットボール部は、県大会優勝という目標に向け、日々練習に取り組んでいます。練習時間を多くすることはできませんが、選手一人一人が自主性と桜が丘生としての自覚とプライドを持ち、チーム一丸となって頑張っています。勉強と部活動の両立は大変ですが、充実した高校生活を送ることができます。

年間行事 令和2年度 の予定



III 地域とつながる

学校評議員、PTA、同窓会や地域の方々との連携を深め、地域から愛される学校づくりを行います。



登校時あいさつ運動(PTA総務委員・健全育成委員)



好間地区ボランティア
(PTA総務委員)

桜丘会館

桜丘会館は昭和13年に皇紀2600年並びに創立25周年記念事業として建てられました。過去には、部活動の合宿や箏曲部の活動場所として使用されていました。平成26年に登録有形文化財に登録されました。

平城跡の独立丘陵にある敷地からは、古墳時代の土器や平安時代の土師器も出土しました。また、多くの樹木や庭園が校舎を包んでいます。



校章



これは、昭和11年10日に制定されました。中央の長方形は鏡を表しています。鏡は、姿をうつすだけでなく心をうつして、常にもその心を正しくするものであります。

周囲の桜は、わが校のシンボルである桜をかたどったもので、桜が丘という呼称にもちなんでいます。

学校の沿革

明治37年 6月12日 高等女学校令による「私立磐城女学校」設立認可(福島県知事)

7月 8日 開校。平町旧城跡27番地平藩主安藤公の庭園、万華園跡に設立される。
本科(4年制)及び技芸専修科(2年制)を置く。

明治45年 4月 「福島県立磐城高等女学校」開校認可。

明治45年 4月10日 開校式を挙行(当日を創立記念日と定める。)
生徒定員250名(5学級)

昭和23年 4月14日 学制改革により、福島県立磐城女子高等学校設置。1,250名(25学級)となる。

平成13年 4月 1日 福島県高等学校条例の一部改正により、校名が「福島県立磐城桜が丘高等学校」に改められ、男女共学化される(募集定員400名)。



【明治39年】磐城女学校 第1回卒業生



【平成16年】磐城桜が丘高等学校 第1回卒業生



福島県立磐城桜が丘高等学校

〒970-8026 福島県いわき市平字桜町5番地
TEL.0246(25)9101 FAX.0246(21)7567
URL <https://iwakisakuragaoka-h.fcs.ed.jp/>

